

⑤ 改質アスファルトシート防水工事（常温粘着工法）

| | | |
|-----|-------|-------|
| 監督員 | 現場代理人 | 主任技術者 |
| | | |

| |
|------------------|
| 令和〇〇年度〇〇〇号 〇〇〇工事 |
| 〇〇〇建設株式会社 |

| 作業番号 | 作業区分 | 1. 手順 | 2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程「～より、～して」+「～になる」と記述する) | 3. 既存の災害防止対策 | 4. リスクの見積り | | | 5. リスク低減措置案 | 6. 措置実施後のリスクの見積り | | | 7. 対応措置 | | 8. 備考 |
|------|------------------------------|--------------------------------|--|--|-----------------------|-----------------------|-------------|--|-----------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|------------------|-------|
| | | | | | 重 災 害 度 の | 可 発 生 性 の | 優 先 度 | | 重 災 害 度 の | 可 発 生 性 の | 優 先 度 | 措 置 実 施 日 | 確 認 資 料 | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 使用材料のリスクアセスメントの確認 | ・教育の実施 ・SDSの理解確認 | ・取り扱い方法を間違えて災害が起こる ・保護員を使用しないで災害に遭う | ・施工業者による教育 | 2~4 | 2~3 | II | ・化学物質のリスクアセスメント実施 | 2 | 2 | II | | | |
| 2 | 材料（重量物）の運搬ならびに保管 | ・シート類、製品缶、混和材などの運搬 | ・重量物を運搬して腰痛になる ・運搬中に重量物を落としたり転倒してケガをする | ・台車、クレーンの活用 ・1本ずつ荷運びする ・安全靴を履く ・準備運動の実施 | 2~4 | 2~3 | II | ・腰痛対策ベルトの着用 | 2 | 2 | II | | | |
| 3 | 材料（危険物）の運搬ならびに保管 | ・溶剤系プライマー、接着剤、仕上塗料などの運搬 | ・火気により引火して火災になる ・こぼして環境に影響を及ぼす | ・近くで火気を使わない ・密栓して運ぶ | 2~4 | 2~3 | II | ・近くで火気を使わない ・規定倍数以下の保管を実施 ・エマルジョン系への代替 | 2 | 2 | II | | | |
| 4 | 下地調整作業 | ・金コテ、ローラー、刷毛の使用 ・粉体と混和液との混合 | ・粉体を取り扱っている中に吸引して体調不良になる ・攪拌機に接触してケガをする | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 2 | 2 | II | ・調合作業方法の工夫 ・より有害成分の少ない材料への代替 | 1 | 2 | I | | | |
| 5 | プライマー・接着剤の塗布（溶剤タイプ） | ・ローラー、刷毛の使用 ・材料の混合 | ・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良などになる ・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 2~3 | 2~3 | II | ・有機ガス用防毒マスクの着用 ・水系、無溶剤系のプライマーへの代替 ・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用 | 1~2 | 1~2 | II | | | |
| | プライマー・接着剤の塗布（無溶剤・水系タイプ） | ・ローラー、刷毛の使用 ・材料の混合 | ・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 1~3 | 1~3 | II | ・揮発成分の少ない材料への代替 ・より有害成分の少ない材料への代替 ・保護メガネの着用 | 1~2 | 1~2 | II | | | |
| 6 | 断熱材の張り付け（断熱工法の場合） | ・断熱材の裁断、加工 | ・断熱材の擦れなどによる粉じんの吸入により体調不良になる ・シート裁断時のカッターによりケガをする | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 2 | 2 | II | ・加工性に優れた材料への代替 ・刃物に強い軍手などの着用 | 1 | 2 | I | | | |
| 7 | 粘着（自着）シートの張り付け | ・シートの裁断、加工 | ・材料との接触によりカブレなどを発症する ・シート裁断時のカッターによりケガをする | ・保護員（軍手など）の着用 | 2 | 3 | II | ・加工性に優れた材料への代替 ・刃物に強い軍手などの着用 | 1 | 2 | I | | | |
| 8 | シート端末シール処理 | ・シーリングガンを使用 | ・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良になる ・材料との接触によりカブレや体調不良になる | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 2 | 2 | I | ・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用 | 1 | 1 | I | | | |
| 9 | 端末金物の取り付け | ・金物の裁断、加工 | ・金物裁断時のアルミの切粉が目や口に入り、ケガをする | ・保護員（軍手など）の着用 | 2 | 2 | I | ・保護メガネの着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用 | 1 | 1 | I | | | |
| 10 | 端末シール処理 | ・シーリングガンを使用 | ・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良などになる ・材料との接触によりカブレや体調不良になる | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 2 | 2 | I | ・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用 | 1 | 1 | I | | | |
| 11 | 仕上塗料の塗布（溶剤タイプ） | ・ウールローラー、刷毛の使用 ・材料の混合 | ・材料中の有機溶剤を吸入して体調不良などになる ・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 2~3 | 2~3 | II | ・有機ガス用防毒マスクの着用 ・水系、無溶剤系の塗料への代替 ・耐油機能付き手袋、保護メガネの着用 | 1~2 | 1~2 | II | | | |
| | 仕上塗料の塗布（水系タイプ） | ・ウールローラー、刷毛の使用 ・材料の混合 | ・材料の直接吸入、接触によりカブレや体調不良になる ・攪拌機に接触してケガをする ・跳ねた塗料が目に入り、目に異状が生じる | ・保護員（軍手、防塵マスクなど）の着用 | 1~2 | 1~2 | I | ・揮発成分の少ない材料への代替 ・より有害成分の少ない材料への代替 ・保護メガネの着用 | 1~2 | 1~2 | I | | | |
| 12 | 絶縁シート・クロス の張り付け (押え工法) | ・シートの裁断、加工 | ・シート裁断時のカッターによりケガをする | ・保護員（軍手など）の着用 | 1 | 2 | I | ・加工性に優れた材料への代替 ・刃物に強い軍手などの着用 | 1 | 1 | I | | | |
| 13 | 廃棄物の処理 | ・皮スキの使用 | ・金属容器を加工する際にケガをする ・未硬化の材料との接触によりカブレや体調不良になる | ・軍手、ヘルメットの着用 | 2 | 2 | II | ・耐油機能付き手袋の着用 ・皮膚の露出が少ない長袖作業着の着用 ・加工しやすい容器への代替 | 1 | 1 | I | | | |

リスクの見積りの凡例：●災害の重篤度 5=致命的 4=重大・後遺症 3=入院・長期離脱 2=通院・短期 1=けが程度
 ●発生の可能性 5=極めて高い 4=高い 3=比較的高い 2=可能性があり 1=ほとんどない・可能性なし
 ●優 先 度 III=直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 II=速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。 I=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスク
 注意1：リスク低減措置案は具体的に記載すること。（悪い例：滑らないように注意する。 良い例：滑り止め〇〇を使用する。）
 注意2：対応措置の確認は、基本的には写真(1項目につき1枚)により確認する。写真で確認できない場合は、実施の記録等で確認する。
 注意3：「措置実施後のリスクの見積り」まで記載したものを施工計画書へ添付する。「対応措置」は措置実施日に記入し、完成検査前に確認資料を添付の上、監督職員に提出する。